

NEW JACTIM JOURNEY



No.1 (2019年1月)

マレーシア日本人商工会議所
会頭 井水 啓之

皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

新年にあたり、「NEW JACTIM JOURNEY」(新しいJACTIM 探しの旅)を寄稿することを思いつきました。自身の思いや気付きを都度、会員の皆様と共有し議論のきっかけを提供することにより、新しいJACTIM づくりに少しでも貢献したいと思っています。

本年も何卒、宜しく願い申し上げます。



昨年はマレーシア新政権が発足し、大使館はじめ、ご関係の皆様のご強いご支援により、マハディール首相、リム財務大臣、MITI/MIDA 等、政府要人への我々の思いや懸念点などの報告を通じて、関係構築の足がかりができた年でありました。そして、累計 30 回を超える新政権との対話が、図れた一年でもありました。皆様、本当に有難うございました。

また、対内運営面では「100 日計画」を発信した後、ご関係の皆様のご尽力により、事務局機能の強化や部会活動の活性化に向けた論議など改革が着実に、進みつつあります。改めまして、皆様のご支援に感謝と御礼を申し上げます。

また、昨年、JACTIM として初めてサービス内容に関するアンケートを実施頂きましたが、JACTIM に最も期待する内容としては以下の2点であり、

- ① **自社単独で解決できない問題の解決**
- ② **各種セミナー等を通じた知識や情報の収集**

また、強化すべき活動としては以下の2点であることが理解できました。

- ① **マレーシア政府との対話、提言活動**
- ② **部会活動**

これらの結果を踏まえて、2019年の私の抱負の一端を述べさせていただきますと

- ① MITI/MIDAとの関係を軸にしながらも首相や財務省との関係を太く、「マルチプレイヤー化」を実現すること、そして、**具体的な成果に結実できる一年**にしたいと考えています。
- ② 対内におきましては、部会・地域部会活動の活性化を目的に、「**部会・地域部会の自主責任運営**」を進めるべく、具体的な運営方針、目標、取組内容を定めて、参画型の活性化された運営をお願いしたいと存じます。
- ③ また、MITI/MIDA はもとより、人的資源省、税関、入国管理局、税務当局等の政府関係機関をお招きし、**セミナー・カンファレンスを企画、充実**させたいと思います。会員企業の皆様のビジネスチャンスの創造、経営リスクの軽減や政府関係当局との関係深更に資する運営を図ることが主目的です。

是非、各種委員会、部会などの場で議論頂き、具体的に検討、実行し、JACTIM のバリューを皆さんと一緒に上げていき、結果として日系企業が自然に集うような集団になれば理想ですね。

1月8日 AMCHAM（アメリカのマレーシア商工会）新事務所の開所式にお招きを受けた際にあるテレビメディアからその場で取材を受けました。新政権になりルックイーストポリシー傘下で、日本からの直接投資がどうか、突っ込んで尋ねられました。



(アズミン・アリ経済大臣 於 AMCHAM)

2018年1月～9月まで MIDA に認可された投資件数は 34 件、21 億 RM です。新政権の影響についてのコメントは判断が難しいタイミングではありますが、良いスタートを切ったのではないかとお伝えしています。併せて、輸入サービス税など懸念点もボイスアウトしました。

1月9日 嬉しいニュースが入ってきました。直近で最大の懸念点の一つであった輸入サービス税 6%のグループ企業間役務に対する課税について、対象外になる可能性が出てきました。これまで色々な場面で声を挙げてきて良かったと感じています。



これまでの経験上、この国は、産業界の声（是々非々）をタイムリーに政府にお届けすることがとても大切であり、その為には日頃より、会員企業の皆様の声を常にアップデートし、誰からでも内外に発信できる環境を整えておくことがリスクマネジメントとして求められています。アンケート回収率の向上をお願いしているのもその一環です。

部会活動等を通じて、是非、生の声をタイムリーにお届け頂けると幸いです。また、査察などの緊急案件は可能な限り、情報共有をタイムリーに図れるように WhatsApp などの連絡網の整備も含めて、ご協力のほど宜しくお願いします。

昨年の JACTIM 忘年会でも申し上げました通り、JACTIM はマレーシア全土をカバーする組織で、日系企業を代表する組織としてマレーシア政府から受け止められています。そして、マレーシア新政府は日系企業の声をとても大切に受け止めて下さっているようにも感じて参りました。

JACTIM は世界の商工会の中で、世界一活発な団体であるという噂を聞いたことがありますが、会員企業の皆様が夫々の目的を果たし、やりがい感、満足感を得られるような自立した参画型の活動を期待してやみません。また、JACTIM を「自立した「機敏」な組織に変える」ことが、私の願い、目標でもあります。

本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。